

第 38 回日本パラ水泳選手権大会 参加上の注意事項

1 競技規則と競技方法

- 1) 本大会は、世界パラ水泳連盟（WPS）競技規則を基にした競技運営指針「競泳競技規則」と本大会要項に基づいて行う。内容の主なものについては（一社）日本パラ水泳連盟（JPSF）「2021 年度 JPSF 競技運営指針」を参照すること（別添参照）。
- 2) 競技方法は、個人種目、リレーともタイムレース決勝とし、複数のクラスが同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。
- 3) 本大会では、JPSF の「競技者資格規程」（別添参照）が適用されるので、スポーツマンシップに注意すること。
 - *水着、広告規制、装飾品など招集所でチェックされるので、その旨心得ること。
 - *テーピングやサポーターも禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされる。ただし傷を保護するために行う場合は、審判長の指定した役員の許可が必要で、「テーピング等申請用紙」を提出すること。
 - *障害上、医療用具（ストーマ、カテーテル等）を装着して泳ぐ場合は、テーピングと同じく「テーピング等申請用紙」を提出し、審判長の指定した役員の許可が必要である。
 - *「テーピング等申請用紙」は選手受付に備えている。該当レースの 1 時間前までに「テーピング等申請用紙」を競技デスク（招集所に設置）に提出し、許可を得ること。
- 4) 水着の取り扱いについては、WPS 規則、FINA 規則による。障害上など着用に関係がある場合は申し出ることで例外的に認めることがある。該当レースの 1 時間前までに「規定外の水着使用申請書」を競技デスクに提出し、判断を仰ぐこと。また、記録の公認については、内容によってその都度判断をする。
- 5) 本大会は上訴審判団を設置する。

2 スタートについて

スタートは 1 回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォルススタートをした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。スタート合図は、英語（「Take your marks」）で行う。

※スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタート台に上がり、「Take your marks」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートをする場合は、短い笛の合図で、直ちに自レーンもしくは近い方のプールサイドから入水し、自レーン内に移動する。飛び込みスタートの時は「Take your marks」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は、短い笛と長い笛の間が空くため、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。（競技の進行上、水中スタートをする選手で、プールサイドから入水する選手は自分の選手紹介が終わり次第プールサイドに移動し入水の準備をすること）

聴覚障がいのある選手のスタート合図は、原則として上記と同様であるが、笛や発声による音声での合図の部分については、出発合図員の動作により表現するので、出発合図員に注目すること。

本大会は、バックプレート付きのスタート台およびバックストロークレッジを使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。

3 ゴールと退水について

ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。

ゴール後は退水合図（短い 2 回のホイッスル）後、横退水すること。

4 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。

5 招集

招集は、プールサイドで行う。あらかじめ記載された競技時刻の10分前をめどに集まること。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自スタートリスト等で自分の招集時間を確認すること。また、競技の進行に注意すること。なお、当日競技を棄権することになった場合は、競技開始1時間前までに「棄権届け出用紙」を競技デスクに提出すること。招集場所が密にならないように、他者との距離の確保や会話は控える等留意すること。

6 競技エリア内入場許可

本大会では、競技エリアに介助者が入る場合、コードオブエクセプションの「T」、「A」、「Y」の記載のある選手については申請不要である。「T」、「A」、「Y」の記載のない選手については「エリア入場許可申請」を、該当レースの1時間前までに競技デスクに提出し、許可を得ること。内容によっては認められないことがある。

入退水介助とタッピングは選手側の介助者で行うこと。今回は大会運営側でタッピングや入退水の介助は行わない。

「エリア入場許可申請書」は、選手受付に備えている。申請書はJPSFのホームページからもダウンロードできる (<http://new.paraswim.jp/>)

S・SB・SM14・15ならびにJDSAの選手の介助者等のエリア内入場は認められない。

介助者がいない選手の義足や杖、車いすなどの移動は競技役員で行う。

7 競技時間

競技時間は、あらかじめスタートリストに記載された時刻で行う。ただし、トラブルなどにより記載された時刻から遅れることがあるので、進行状況に注意すること。

8 棄権・訂正について

氏名、所属の訂正や棄権の場合はそれぞれ「プログラム訂正用紙」、「棄権届け出用紙」に記入し、競技開始1時間前までに競技デスクへ提出すること。エントリーと異なる参加種目の変更や追加は原則認めない。「プログラム訂正用紙」、「棄権届け出用紙」は選手受付に備え付けている。申請用紙はJPSFのホームページからもダウンロードできる (<http://new.paraswim.jp/>)

9 抗議について（クラス分けに関する抗議は別の定めに従うこと）

競技開始前に判明した事項は、出発合図の前に文書で審判長に提出しなければならない。競技終了後の抗議は、公式掲示の時刻から30分以内に文書によって抗議料10,000円を添えて大会本部へ提出しなければならない。抗議用紙は、競技デスクに備え付けている。抗議が認められれば抗議料は返金される。抗議が却下された場合は、抗議料は大会実行委員会の所有となる。

抗議の裁定に対する上訴が可能であり、かかる上訴は次の時点から30分以内に上訴料15,000円を添えて上訴審判団に対して行わなければならない。上訴用紙は競技デスクに備え付けている。

- ・審判長の決定により修正された種目結果の正式発表があった時から。
- ・行われた抗議に対して、審判長もしくは審判長の代理者から結果の修正は行われたい旨の通知があった時から。

上訴が認められれば上訴料は返金される。上訴が却下された場合は、上訴料は大会実行委員会の所有となる。

*審判長に失格理由などを問い合わせることは抗議ではない。

*公式掲示は、2階ロビーの「速報リザルト」に記入された時刻をもって公式掲示とする。

10 表彰・メダル授与

今回は個人種目、リレーとも表彰は行わないが入賞者にメダルを授与する。参加当日の全競技終了後1時間以内に各自で選手受付に取りに行くこと(メダルの郵送は行わない)

各種目(リレーの場合はチーム)の優勝者に金メダルが授与される。2位には銀メダル、3位には銅メダルが授与される。ただし、参加申込者が2名(チーム)までの種目は1位のみ、3名(チーム)の種目は2位までにメダルを授与する。表彰状は授与せず、記録証を完泳者に授与する。リレー優勝チームには優勝カップ等を授与する(取りきり、2位、3位はなし、個人メダルのみ)なお、オープン参加の選手は表彰の対象とはしない。

入賞は「クラス別ランキング」にて確認できる。「クラス別ランキング」は2階ロビーに掲示する。各自で順位を確認しメダル獲得者は表彰係まで取りに行くこと。

11 速報の掲示及び記録証の配布

速報は、2階ロビー掲示する。記録証は選手受付で配布する。参加当日の全競技終了30分以内に各自、取りに行くこと(記録証の郵送は行わない)

12 リレーオーダー等について

各チームの責任者は、リレーオーダー用紙をその種目の開始1時間前までに競技デスクに提出すること(ポイント記載や選手の重複出場など間違いのないようにすること)。

リレーにおける第一泳者の記録は計測しない。

13 公式練習及びウォーミングアップについて

練習時は、1レーンの使用人数の目安を守って練習すること。練習に使用できる用具は、ビート板・ブルブイ・フィン・スノーケルとする(パドルは使用できないので注意すること)

公式練習

11月19日(金) 13:00~17:00

メインプールは、決定通知に記載した時間で練習すること。

ダイビングプールは随時使用できる。

サブプールは使用できない。

ウォーミングアップ

感染対策上、プールサイドに入ることができるのは選手とタッパーのみとする。入退水介助者は入退水の時のみとする。

①メインプール(水深2m)

11月20日(土) 8:45~9:15、9:20~9:50 12:10~12:40、12:45~13:15

11月21日(日) 8:45~9:15、9:20~9:50 12:25~12:55、13:00~13:30

※密を避けるため、メインプールでのウォーミングアップは4グループに分けて実施する。詳細は「入場時間とメインプール練習時間」に記載する。公式スタート練習は行わない。1レーンの使用人数は10人を目安とする。

②ダイビングプール(水深5m x 25m)

11月20日(土) 8:45~競技終了後30分まで

11月21日(日) 8:45~競技終了後30分まで

※ダイビングプールでの飛び込みは禁止する。1レーンの使用人数は5人を目安とする。なお、開始式、セレモニーの間は使用できない。

③サブプール(水深1.2~1.4m) x 50m 2レーンのみ

11月20日(土) 8:45~競技終了後30分まで

11月21日(日) 8:45~競技終了後30分まで

※サブプールでの飛び込みは禁止する。1レーンの使用人数は10人を目安とする。

14 監督者会議について

監督者会議は行わないので、この注意事項をよく読んでおくこと。
競技についての質疑がある場合は、競技デスクへ問い合わせること。

15 クラス分けについて

本大会では指名された選手に行う。

16 水着・所属表示等について

本大会の水着に関する規程は、FINA 及び WPS の競技規則による。1- (5) の許可を得た場合以外の選手は FINA 公認の水着を着用すること。水着のチェックは招集所で行う。規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、すべて参考記録扱いとなり、決勝への出場はできない。着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。水着へのテーピングおよび2次加工は禁止する。ただし、障がい上の理由で FINA マークのついていない加工された水着または FINA マーク剥離の水着を着用する場合は、事前に大会本部に届け出て、許可を受けなければならない。

競技エリアで着用するユニホーム等の表示は、介助者、スタッフを含め次のもの以外は認められない。①自分の氏名、所属の名称やマーク、②国旗・国または地域の名称、都道府県や市町村の名称やマーク、③公式競技会および公認競技会のシンボルマークや主催者が認めたもの、④水着、ウェア等のメーカーロゴ・マーク、⑤事前に届出承認がされている、スポンサーロゴ。それぞれの大きさと数については、【表】のとおりとする。

【表】

マークの種類/用途	水着についてよい大きさと数	ウェアについてよい大きさと数	その他のものについてよい大きさと数
自分の氏名、エントリーした所属の名称、マーク、国旗・国または地域等の名称やマーク、公式・公認競技会のマークや主催者が認めたもの。	50 cm ² 以内で1か所。	大きさ、数に制限なし。	大きさ、数に制限なし。
メーカーのロゴ・マーク	メーカーロゴまたはマークは30 cm ² 以内で1か所。	メーカーロゴは40 cm ² 以内で1か所。マークは20 cm ² 以内であれば数に制限なし。	メーカーロゴは20 cm ² 以内で1か所。マークは20 cm ² 以内であれば数に制限なし。
事前承認されたスポンサーロゴ	30 cm ² 以内で1か所。	40 cm ² 以内で1か所。	20 cm ² 以内で1か所。

※1 それぞれの大きさ（サイズ）は着用前の面積とする。採寸方法は正方形または長方形とみなし、縦×横で面積を求める。それぞれの面積は最大を示し、その範囲内であれば大きさに規定はない。

※2 ワンピース水着の場合は、ウエストより上に1つ、ウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ、下部に1つが許される。ただし、これらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。

17 アンチ・ドーピングについて

本大会は日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。

2021 年アンチ・ドーピング規程が改定されている。日本アンチ・ドーピング機構の WEB サイトをよく

読み (<http://www.playtruejapan.org/>)、誰でもドーピング検査対象となり得ることを理解して参加すること。

障がい上、必要な薬物使用であっても、必要な手続きにて許可を得ていなければドーピング行為とみなされる。各自で事前によく調べて対応しておくこと。治療的使用特例（TUE）許可書を持っている場合は持参しておくこと。

アンチ・ドーピング規則違反となった場合は、規定に従って出場停止などの処分があるので注意すること。

知的障がい者ならびに大会期間現在で18歳未満の選手については、親権者が署名した未成年検査同意書(別添参照)を携帯しておくこと。また、18歳未満の競技者への検査について | 日本アンチ・ドーピング機構 | Japan Anti-Doping Agency (JADA) ([playtruejapan.org](http://www.playtruejapan.org/))をよく読んで参加すること。

18 トレーナーブースについて

トレーナーブースは設置しない。選手のパーソナルスタッフによるケアは最小限とすること。
マッサージベットの持ち込みは禁止する。

19 その他

- 1) 選手ならびに同行者は2階入口より出入りする。密を避けるため、選手ならびに介助者の入場時間を分散して行う。選手の介助者は選手と一緒に入場し受付をすること。詳細は「入場時間とメインプール練習時間」に記載する。車いす選手はエレベーターを使用して2階ロビーへ上がることができる。入館時に14日間の健康チェックシートの確認と検温を行う。表面温度計により37℃以上の場合は腋窩検温を行う。平熱より高い（腋窩体温37.5℃以上がめやす）場合や、体調不良がある場合は入場をお断りする。
施設に入場できるのは、選手と決定通知の際に配布した健康チェックシートのある方のみとする。個々の決定通知送付文を参照のこと。
- 2) 参加初日前14日間の健康チェックシートは決定通知と一緒に配布している。練習日(11月19日)に入場するためには11月6日から記録しておくこと。
- 3) 本大会では車いすの貸し出しは行わない。各自対応すること。また、更衣室やプールに入る際は十分に汚れを落として入ること。
- 4) 選手の休憩・待機場所は、2階観覧席とする。観覧席裏側のフロアを使用する際は他者と十分な距離をとること。食事はダイビング側の観覧席で行うこと。それ以外の場所での食事は禁止とする（飲水は観覧席でも可能）。
- 5) 観覧席では他者との距離を取るため、二つ席を空け、かつ前列と重ならないように座ること。
- 6) 大会側より許可を受けた者以外の競技エリア内への入場はできない。
- 7) 車いすの選手が招集へ行く際は、1階玄関から入り、更衣室を通っていくこと。ただし、異性が付き添う場合は競技役員控室の通路からプールサイドに移動すること。
- 8) 更衣は、大会専用更衣室を利用すること。異性更衣室は2か所設置する。譲り合って使用すること。ロッカーは使えないので、貴重品等は各自で管理すること。また、貴重品に限らず紛失盗難することもあるため、荷物の管理は気を付けること。紛失盗難などの責任は一切負わない。また、更衣室の使用はレース出場時のみとし、荷物を置いたままにしないこと。
- 9) プールサイドは裸足となっている。ただし、義足や装具やけが予防のための上靴（選手のみ）は使用してもよい。
- 10) 水温は27～28度とする。室温は27度程度とする。全館換気が行われているが状況により窓を開けて換気することがあるので、各自保温に留意すること。
- 11) メインプールのゴール側のコーナーに水深を浅くするための赤台を設置する。
- 12) 選手には開催期間(前日練習日も含む)を通して1枚のアクレディテーションカード（ADカードという）を発行する。紛失しないようにすること。バックストロークレッジの使用の有無について各自で記

入しておくこと。

介助者や競技役員、事前に申請のあった関係者にも開催期間を通して1枚のADカードを発行する。

- 13) ADカードの裏面には毎朝、起床時の体温を記載しておくこと。体温の記載がない場合やADカードがない場合は入場できない。会場内では常に携帯(首から下げる等)しておくこと(練習中、レース中を除く)。
- 14) 選手は、原則レース前までマスクを着用すること。衣類やマスクが直接脱衣かごに触れないよう、ビニール袋などを各自で準備すること。
- 15) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。
- 16) 会場において発熱等の症状があった場合は、医務員または医務救護まで連絡の上、すみやかに退館すること。
- 17) 競技の撮影について
 - ①本大会に関する知的財産権(大会写真、動画等)は主催者に帰属する。主催者の許可なく個人的な利用(非営利目的以外)以外での使用は認められない。
 - ②介助者や選手等による撮影場所は、2階観覧席からとする。撮影機器は携帯用カメラレベル(携帯電話・スマートフォン・レンズ一体型コンパクトデジタルカメラ)とし、フラッシュを利用した撮影等、競技の妨げになるような撮影はしないこと。また、1眼レフやレンズ交換ができるタイプのカメラおよびビデオカメラ、赤外線フィルター、赤外線装置を使つての撮影は禁止する。
 - ③不審な撮影行為は、係員が事情聴取をする場合がある。内容によっては、所轄警察署に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、係員に連絡すること。
 - ④個人情報保護・迷惑防止条例等に抵触しないように十分注意すること。
 - ⑤撮影した写真・動画については、ご家庭・チーム内で鑑賞することにとどめ、許可を得ていない自分以外の人が写りこむ写真やJPSF協賛企業の広告以外の広告物が写りこむ写真のインターネット(SNS等)へのアップロードは禁止する。また、動画のアップロードは禁止する。
 - ⑥メディアの撮影は事前に申請し許可を得た場合のみとし、当日報道受付でメディアガイドを受け取り、それに従って行うこと。決められた場所以外での取材・撮影は禁止する。
- 18) 大会実施要項にも記載したように、本大会では、YouTubeで競技状況の映像などを配信するので、多くの人にも見られている。選手としての自覚をもって行動をするなど、その旨心得ること。
- 19) 個人情報の取り扱いについて
本大会のプログラム記載事項、記録などはJPSFホームページで公開する予定である。その他、JPSFの個人情報取り扱い方針に基づいて行われる。
- 20) 弁当申込者(事前申込者のみ)は、引換券を持参して午前11時以降に受付に取りに行くこと。空き箱は回収するので午後2時までに受付まで返却のこと。
- 21) ゴミはすべて持ち帰ること。
- 22) 駐車場の開場は7時30分を予定している。駐車場には限りがあるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
- 23) 忘れ物は、選手受付に一時保管する。大会終了後は神戸事務所で保管するが2週間を超えた場合は処分する。忘れ物等の問合せは直接、選手受付へ申し出ること。大会終了後は神戸事務所に連絡すること。
- 24) 本大会における新型コロナウイルス感染症防止対策の詳細については更新することがある。更新した場合はJPSFのホームページに掲載する。
- 25) 自分の競技が終われば速やかに退館すること。

以上

入場時間とメインプールの練習時間

期 日	対象者	受付時間	メインプールでの 練習時間
19 日	公式練習希望者と その介助者	12:45～	13:00～17:00 で決定通知に指定した 時間帯
20 日	プログラム No1～7 出場者とその介助者	8:25～ 大会実施要項から変更	8:45～9:15 大会実施要項から変更
	プログラム No8～11 出場者とその介助者	9:00～	9:20～9:50
	プログラム No12～13 出場者とその介助者	9:30～	12:10～12:40
	プログラム No14～16 出場者とその介助者	10:00～	12:45～13:15
21 日	プログラム No17～20 出場者とその介助者	8:25～ 大会実施要項から変更	8:45～9:15 大会実施要項から変更
	プログラム No21～24 出場者とその介助者	9:00～	9:20～9:50
	プログラム No25～26-5 組まで 出場者とその介助者	9:30～	12:25～12:55
	プログラム No26-6 組～28 出場者とその介助者	10:00～	13:00～13:30

*プログラム No は大会実施要項を参照のこと。

*ダイビングプールでの練習時間は本文に記載の通り。

*メインプールは 1 レーン 10 人、ダイビングプールは 1 レーン 5 名を目安に練習を行うこと。

新型コロナウイルス感染症防止対策として分散して行います。
ご協力のほど、よろしくお願いします。